

八尾市立図書館
「子どもアンケート」調査報告書

平成14年6月

八尾市立図書館

調査実施要項

- 調査場所 八尾図書館、移動図書館、山本図書館、志紀図書館
- 調査期間 平成14年4月17日(水)～28日(日)までの開館時間内(月曜日をのぞく11日)
・ 移動図書館は、配布できるステーションのみ
- 調査対象 小学1～6年生の来館者
- 調査方法 選択回答式によるアンケート用紙の配布および回収(退館までに館内にて回収した)

アンケート館別回収状況

配布・回収枚数

	配布枚数	回収枚数	回収率
八尾図書館	285	268	94.0%
移動図書館	84	83	98.8%
山本図書館	300	264	88.0%
志紀図書館	400	400	100.0%
合計	1069	1015	94.9%

アンケート回収状況

	17日 (水)	18日 (木)	19日 (金)	20日 (土)	21日 (日)	23日 (火)	24日 (水)	25日 (木)	26日 (金)	27日 (土)	28日 (日)
八尾図書館	11	20	8	81	36	22	25	19	14	26	6
移動図書館	-	-	20	17	-	-	11	10	10	15	-
山本図書館	3	16	22	93	24	12	14	15	17	29	19
志紀図書館	17	27	55	90	42	24	18	21	18	61	27
合計	31	63	105	281	102	58	68	65	59	131	52

* 17日は雨のため、18日は利用が煩雑だったため移動図書館では調査できなかった。

集計にあたって

- ・ 小学生を対象としたが、誤配による中学生等の記入は、その他として一括して集計している。
- ・ 「1つだけをつけてください。」の設問で、複数記入の場合、無効とした。
- ・ 分析文中の各館の名称は次のとおりとする。

八尾図書館 八尾

移動図書館 B M

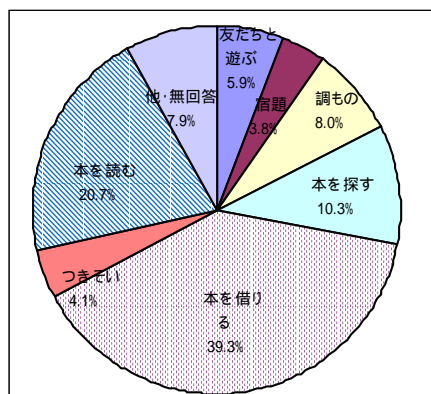
山本図書館 山本

志紀図書館 志紀

各設問分析

1. きょうは、なにをするために図書館にきましたか。をつけてください。(複数回答可)

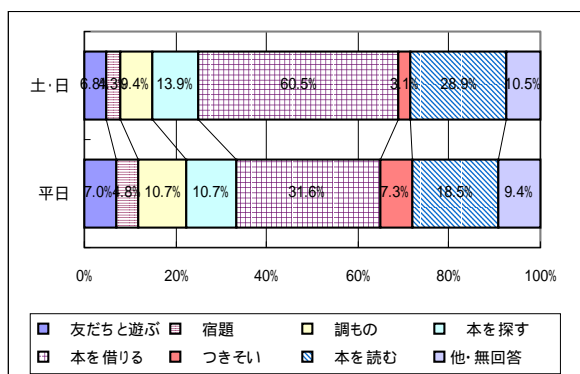
友だちとあそぶため	89
宿題をするため	57
しらべ物をするため	121
本をさがすため	156
本を借りるため	596
ともだちのつきそい	62
本をよむため	314
他・無回答	120



調査当日の目的について聞いている。「本を借りるため」と答えた人がもっとも多く39.3% (596名)あり、続いて「本をよむため」が20.7%あった。

「その他」と回答した児童のうち、志紀・山本図書館では、ビデオ・CDの視聴や貸出・返却のために来館したと具体的に記述しているものが2.6% (40名)あった。

来館の目的を平日と土・日曜日を比較してみると下図のとおりである。

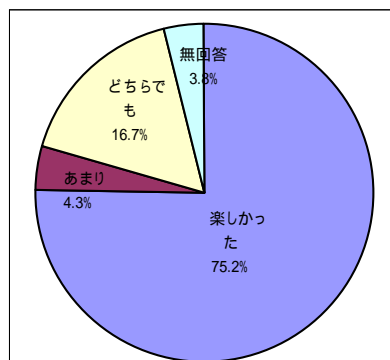


平成14年4月から週5日制が導入され、土曜日にも完全に学校が休みになった。休日と平日の来館の目的を比較してみると、平日では「本を借りるため」は31.6%である

のに対して、土日では60.5%が来館の目的として答えている。さらに土・日は時間的な余裕もあるので、「本を読むため」と回答した児童が平日は18.5%であるのに対して、土・日では28.9%あった。土・日は余暇時間をゆっくり図書館で読書をして過ごすという傾向が子どもたちにも見られた。

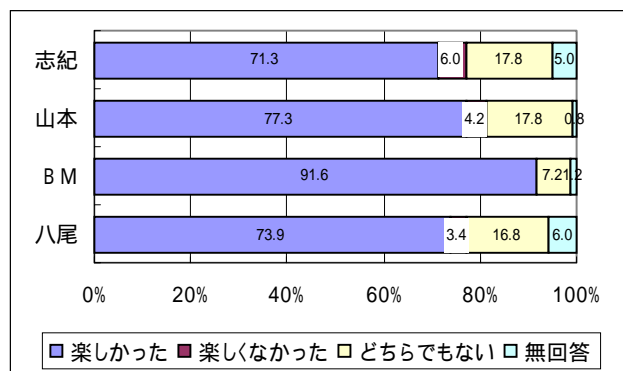
2. きょうは楽しかったですか。ひとつだけをつけてください。

楽しかった	763
あまり楽しなかった	44
どちらでもない	169
無回答	39



75.2%が当日「楽しかった」と回答しており、逆にあまり楽しなかったと回答したものは4.3%に過ぎなかった。

これを館別に比較したのが下図である。



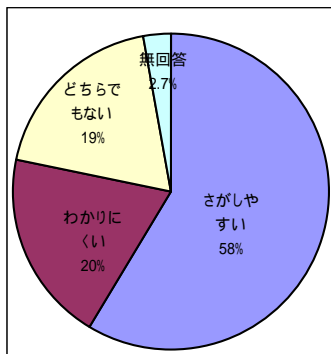
移動図書館が突出して満足度が高く、91.6%が楽しかったと回答していることは特筆しておくべきだろう。移動図書館をのぞくと各館とも同じような傾向にあり、より親しみやすい、「図書館は楽しいところである。」と感じるこ

とができる空間をつくるためのプログラムを充実させ、さらにサービスを向上させていくことが重要である。

学年別でも分析を試みたが、学年間で差異は見られなかった（集計データ参照）。

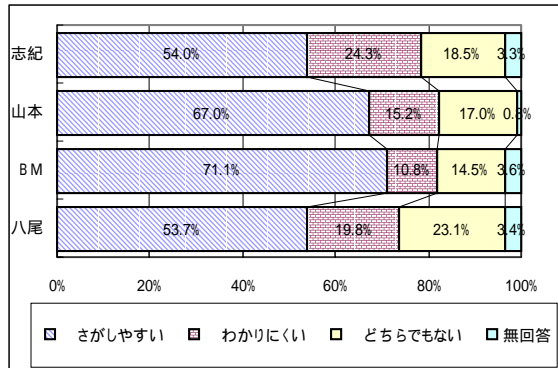
3. 本はさがしやすいですか。をつけて下さい。

さがしやすい	596
わかりにくい	199
どちらでもない	193
無回答	27



58%が本は探しやすいと回答しているが、わかりにくいと答えた児童が20%もあった。

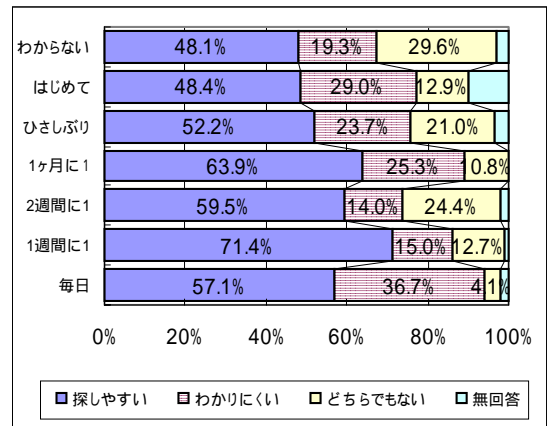
これを館別にみると下図のとおりである。



移動図書館では71.1%が「探しやすい」と回答をよせ最も満足度が高く、山本図書館の67.0%が続いている。

逆に志紀図書館で24.3%、八尾図書館で19.8%の児童が図書館の本についてアプローチしにくいと感じている。

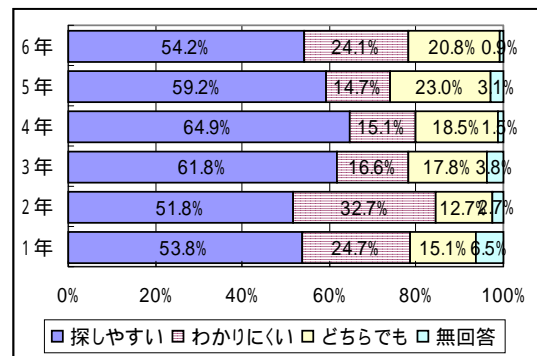
来館頻度別みると下図のとおりである。



「探しやすい」と答えた層でもっとも多かったのは「週に一度来館する」と答えた児童で、71.4%だった。初めて来館した子どもの48.4%が本を探しやすいと答えているが、他方でわかりにくいと回答した児童も29.0%いた。

図書館に慣れてくれば自然と探せるようになると一方ではいえるが、さらに分かりやすい表示や初めてきた子どもに対しては、フロアワークに努めるなどきめ細かなサービスが必要になってくるだろう。

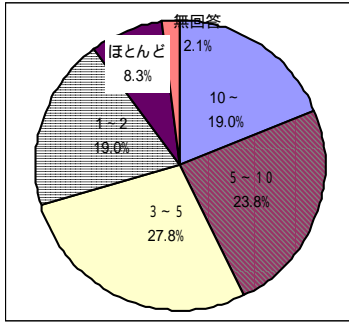
学年別で比較すると下図のとおりである。



2年生で32.7%、1年生で24.7%が本の場所について「わかりにくい」と答えている。また、2年生では「わかりやすい」と答えた児童は51.8%にとどまり、低学年ほど求める本にアプローチしにくいようである。

4. 1週間に何冊なんざつぐらい本を読みますか。

10さつ以上	193
5さつ～10さつ	242
3～5さつくらい	282
1さつ～2さつ	193
ほとんどよまない。	84
無回答	21

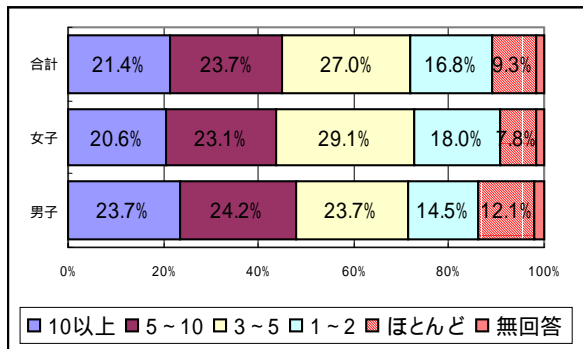


今回の調査では、マンガ等も読書に含むのか、調査票では明確に記述していない。

3～5冊が最も多く28%、続いて5～10冊が24%である。ほとんど読まないと答えた児童も8%あった。

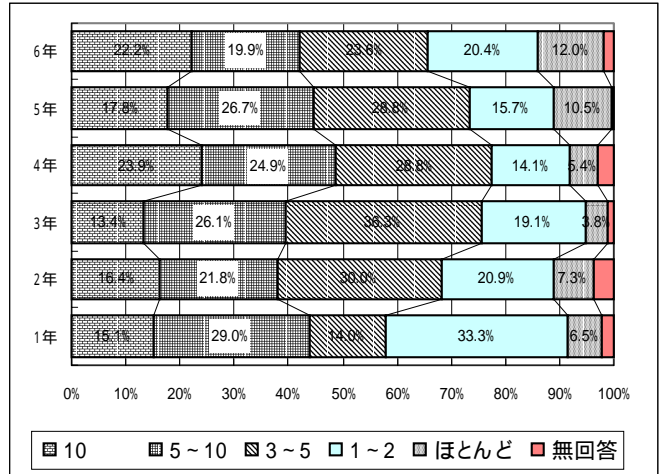
全国学校図書館協議会と毎日新聞社が、毎年、読書調査を行っている。「第47回読書調査」(「学校図書館」(2001年11月号参照)によると、2001年5月の1ヶ月間に読んだ本の平均冊数は、小学生(4～6年)で6.2冊(週2冊弱)であり、この数字は10年来ほとんど変化していない。また、1ヶ月に読んだ本が0冊(不読者)の割合は10.5%だった。

この結果を受けて、今回の調査対象のうち、4～6年生に限って読書量を調べたのが下図である。



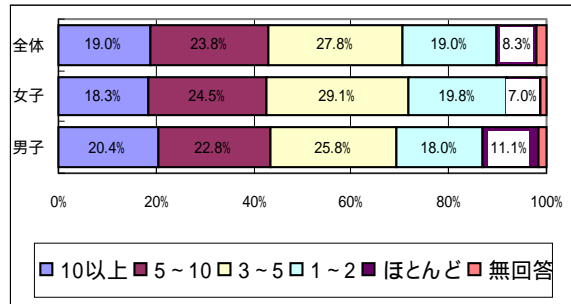
男子でほとんど「読まない」12.1%あるのが気になる。単純に比較できないが、これらの数字を見る限り、図書館を利用している児童の読書量は、平均をかなり上回っていると言えるだろう。

これを学年別に比較すると下図のとおりである。

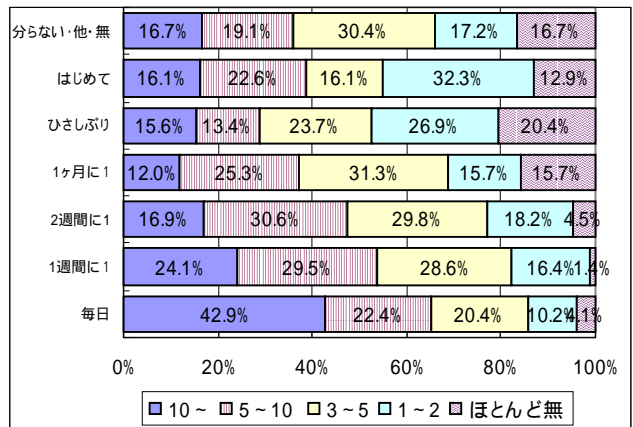


1ヶ月に1～2冊では、1年生がもっとも高く33.3%、続いて2年生20.9%、6年生の20.4%と続く。アンケート実施時期が4月であり、1年生はまだ自ら文字に親しむ機会も少ないので、このような結果が出たと思われる。

男子・女子で比較すると下図のとおりであるが、男女による読書量の差はほとんどみられなかったが、ほとんど読まないと回答した男子が女子よりやや高く11.1%あった。



来館頻度別にみると下図のとおりである。



「毎日来ている」と答えた児童のうち、42.9%が10冊以上本を読むと答えており、5冊以上読むと答えた児童を含めると、65.3%に及び、突出して多い数字になっている。そして、週1回程度来館すると答えた児童の53.6%

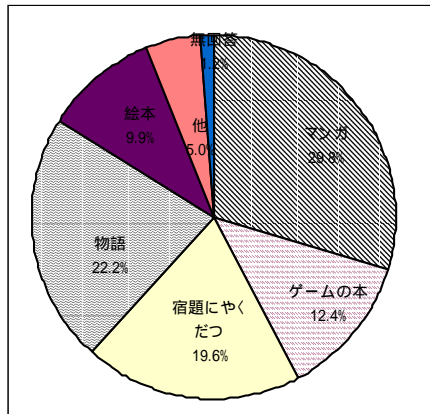
が続く。

来館頻度と読書量の間に関連性があることが読み取れる。

日頃から、読書と図書館に親しんでいると考えられる層が読書量も多いといえるだろう。

5. どんな本が図書館にあればいいとおもいますか。をつけてください(複数回答可)

マンガ	512
ゲームの本	214
宿題にやくだつ本	337
物語	382
絵本	170
そのほか	86
無回答	20



図書館に望む資料としてマンガを挙げた児童が30%と最も多く、「物語」と答えた児童が22%、宿題に役立つ本が20%と続く。

マンガを選択肢のひとつに入れた児童は、512名で、全体の50.4%であった。回答の条件としては、複数回答を認めていたが、マンガのみを回答に挙げた児童は188名(19%)であった。マンガが全体の30%をしめる結果になったが、これは当初予想していたものよりかなり少なかった。

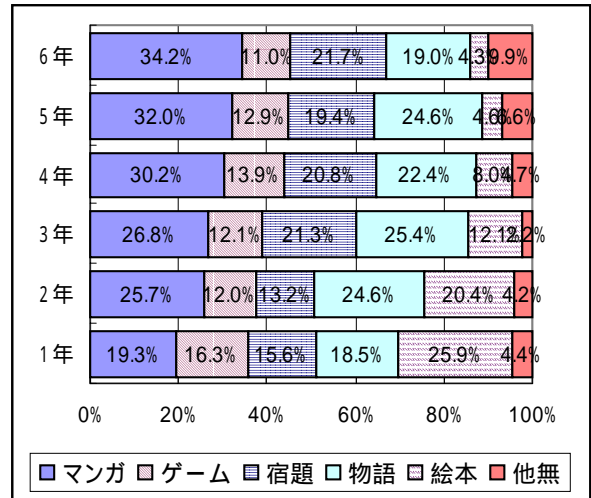
これらの結果から、娯楽・調査・読書など様々な種類の資料をバランスよく収集することを、子ども達は図書館に求めていると言えるだろう。

マンガの収集については、安易に迎合するわけではないが、この結果を受けて、今後は、子どもたちの要求にできる限りつきあっていくことが必要であろう。

小学1~6年生までを対象としているので、どのような分野が好きかと言った成人対象のアンケート調査のような問い方は避け、簡単な項目を並べた。しかし、その他欄や

自由解答欄に自分たちの求める本や「好きな本」について、具体的な回答が非常に多く寄せられた(「集計データ」自由解答欄参照)。

学年別に比較すると以下のとおりである。

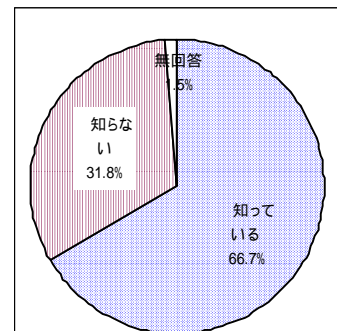


1年生ではマンガを望むのは19.3%にとどまり、逆に絵本を望む声が、25.9%あった。学年が進むほど絵本を望む数は減少するが、2年生ではまだ20.4%が回答を寄せている。しかし4年生になると急激に減少し、8.0%まで落ち込んでいる。

「絵本は小さな子の読むものです。」、「小学生になったんだから、そんな小さな子が読むような本はやめなさい。」このようなやり取りを児童室ではごく当たり前の光景になっている。このように、小学校に入ると無理に絵本から子どもを引き離そうとする傾向がある。しかし、子ども達はまだ絵本を望んでいるのである。専門家からもこのことはよく指摘されているが、このことが数字からも裏付けられる結果となった。

6. 「予約」を知っていますか。ひとつだけをつけてください。

知っている	677
知らない	323
無回答	15



日ごろ図書館を利用している児童のうち 67%は予約サービスについて知っていると考えている。7割近くの児童が「予約」について知っているということは意外に高い数字であった。

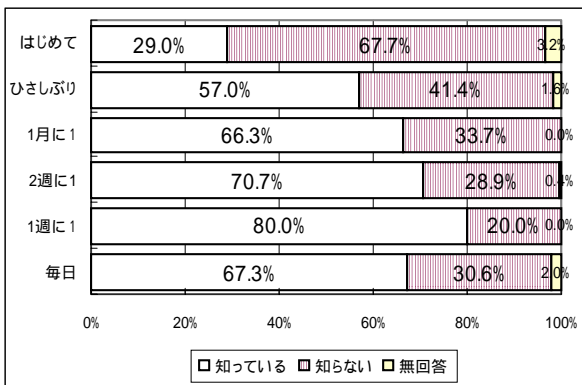
予約とは図書館サービスを実現するための有効な手段であり、図書館が求める資料を提供するところであるということを子どもの頃から知っていることは重要なことである。

館別で比較すると次のとおりである。

	八尾	BM	山本	志紀
知っている	66.4%	69.9%	61.0%	70.0%
知らない	31.7%	26.5%	38.3%	28.8%
無回答	1.9%	3.6%	0.8%	1.3%

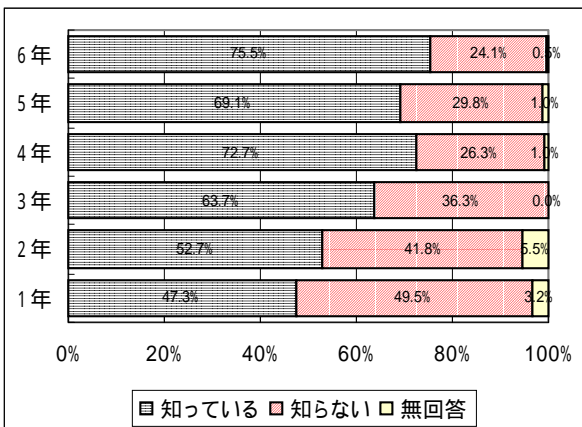
予約に対する認知度は志紀図書館でもっとも高く 70.0%をしめている。移動図書館の 69.9%が続き、61.0%で山本図書館がもっとも低かった。

来館頻度別に比較すると次のとおりである。



1週間に一度程度来館する児童の約 80%が「予約」を知っており、突出して高い数字になっている。日ごろからこの層は図書館をうまく利用している層であると言える。

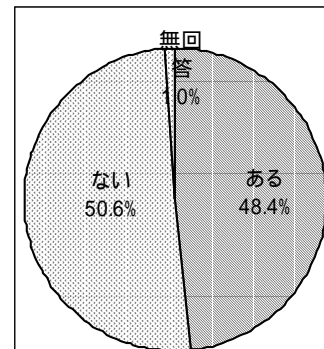
学年別に比較すると以下のとおりである。



学年が進むごとに予約に対する認知度は高まり、6年生では 75.5%が予約について知っていると考えている。続いて、多いのは4年生であるが、これは3年生の図書館見学の際、行った説明によるものであると思われる。逆に1年生では 47.3%にとどまった。

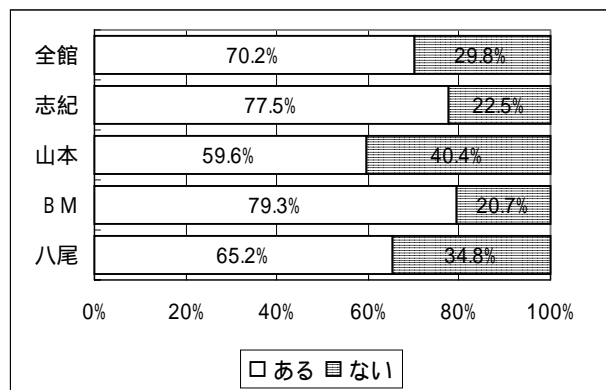
7.「予約」をしたことがありますか。ひとつだけつけてください。

ある	491
ない	514
無回答	10



実際に予約をしたことがあるかきいてみた。全体の 48%が予約をしたことがあると回答している。

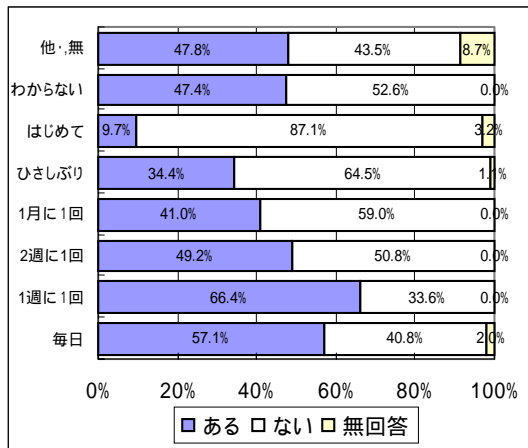
問6で「予約を知っている。」と答えた児童のうち、実際に予約をしたことがあると答えたのは下図のとおりである。



「予約を知っている」と答えた児童に絞ると、全体で 70.2%が実際に予約をしたことがあると回答している。館別でみると移動図書館 79.3%でもっとも多く、続いて志紀図書館の 77.5%であった。

予約サービスを通して、図書館が「本を提供する」機関であることを知り、必要に応じて予約して、入手する。子ども達も図書館をうまく利用していると言えるだろう。

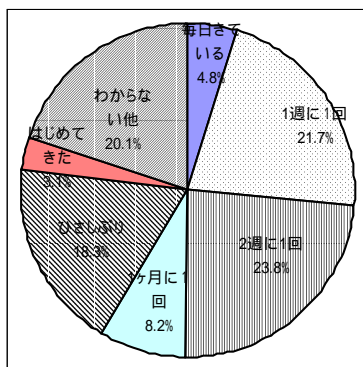
下図は「予約をしたことがある」と答えた児童の来館頻度との関係を記している。



「週1回来館する」と答えた児童のうち、予約をしたことがある児童は66.4%に達した。続いて多いのは「毎日」と答えた層で、57.1%が実際に予約をしたことがあると答えている。来館頻度が低いと、実際に予約しても本を取りに来れないケースもあり、日常的に図書館を利用していないと、「予約」をうまく活用するのも難しいと言えるかもしれない。

8. 図書館にはどれくらい来ていますか。ひとつだけをつけてください。

毎日きている	49
1週間に1かい	220
2週間に1かい	242
1ヶ月に1かい	83
ひさしぶりにきた	186
はじめてきた	31
わからない	135
その他	58
無回答	11



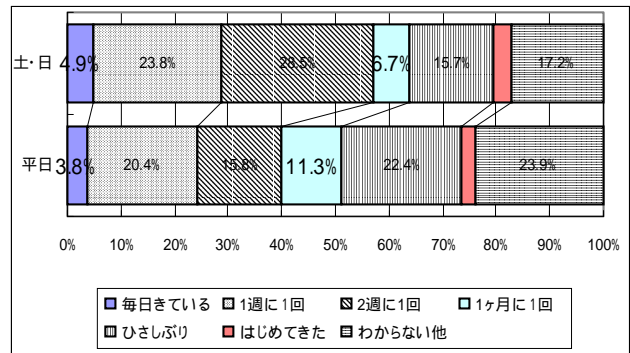
2週間に一度と答えた児童が24%と最も多く、続いて週1回程度の22%が続く。約5.1%が2週間に一度以上来館していることになる。

「わからない」と回答した児童では、学校等の都合もあ

り、来館頻度が定まっていないということが読み取れたが、週2日程度来館(13名) 週2~3回(8名) 週3回(7名) など具体的な回答も多く寄せられた(「集計データ」参照)。

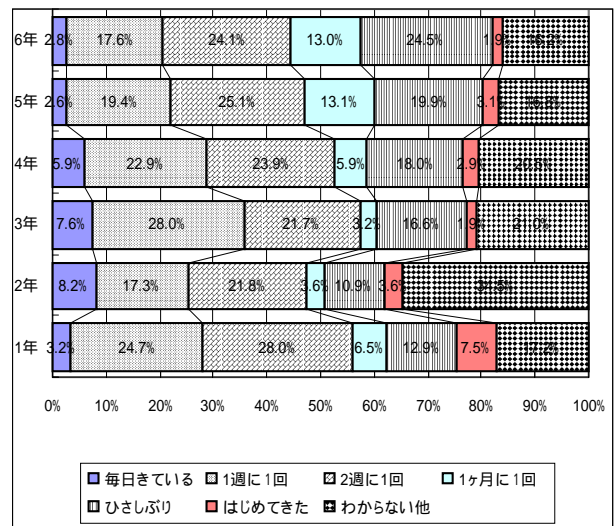
「久しぶりにきた」と答えた児童が18%おり、本の貸出が2週間であるので、期限以内にほとんどの児童が一度以上来館していることになる。

これを平日と土日の比較する(八尾・山本・志紀図書館のみ)と下図のとおりである。



土・日では、2週間に一度来館すると答えた児童が28.5%あり、平日の15.8%を大きく上回っている。学校が休みの時に利用するケースである。平日では「わからない」と回答した児童が23.9%(92人)あり、この層は学校が終わって自由な時間に図書館を利用する傾向にあるようである。

学年別で比較すると以下のとおりである。

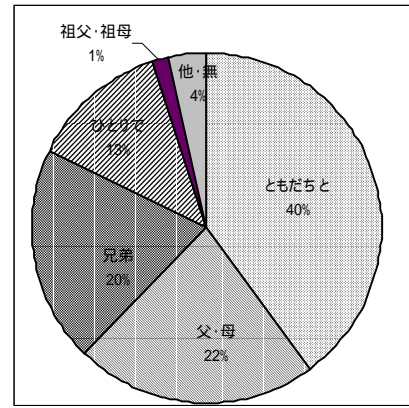
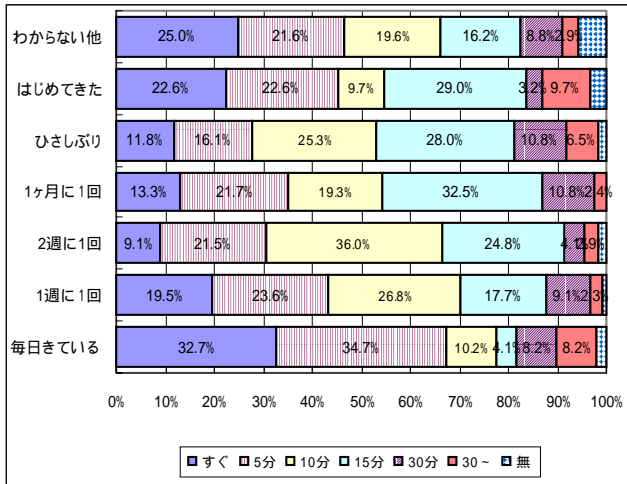


3年生で2週間に一度以上来館する児童が57.3%と最も多くなっている。

月一度程度来館すると答えた児童では、5年生が最も多く13.1%、続いて6年生の13%となり平均の8%を大きく引き離している。高学年になると来館頻度が落ちる理由のひとつは、学校の終業時間も遅くなり、放課後は塾や習

い事にと忙しくなるためであると思われる。

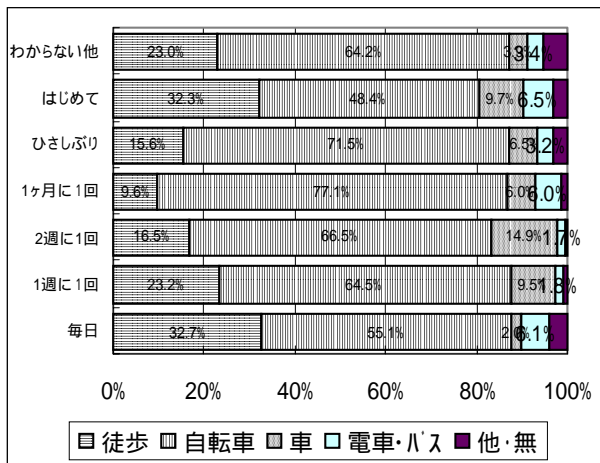
参考までに、来館頻度と図書館に来るまでにかかった時間の関係を下図で示しておく。



ともだちと一緒にきたというケースが最も多く 40%で、父母 22%、兄弟 20%と続いている。「一人できた」と答えたのは 13%だった。来館傾向としては、身近な誰かといっしょにくるといえる。

これを館別に比較したのが下図である。

交通手段別に来館頻度を比較したのが下図である。

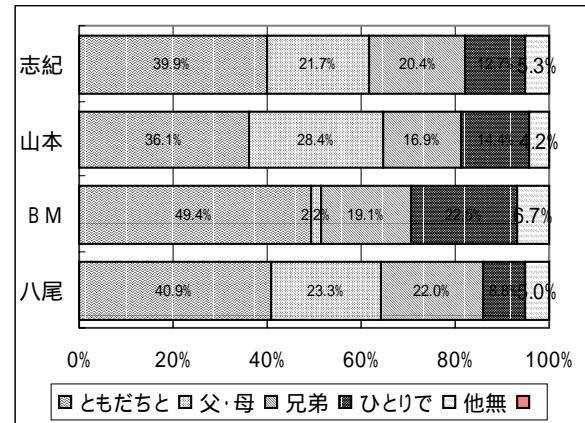


毎日来ると答えた児童の 32.7%が徒歩で来館しており、最も多い。続いてはじめて来館した児童で、32.3%が徒歩で来館している。

1ヶ月に一度の来館すると答えた層の 77.1%は自転車で来館している。来館頻度が少なくなるほど徒歩が減り、自転車を使用するケースが増えてきている。

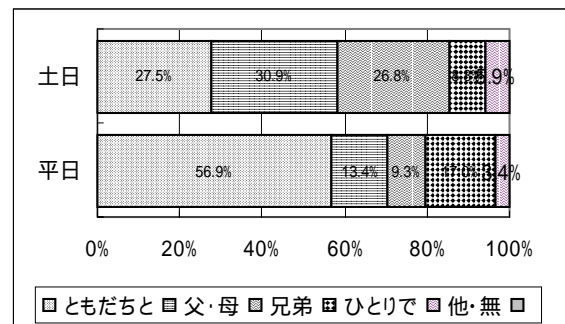
9. きょうはだれと来ましたか(複数回答可)

ともだちと	482
父・母	271
兄弟	240
ひとり	155
祖父・祖母	16
他・無	45



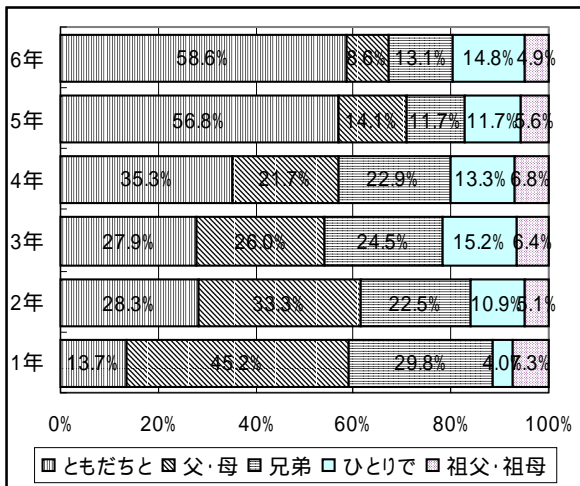
移動図書館では、友達と来ると答えたケースが最も多く 49.8%あった。また、一人で来ると答えたのは、平均の 13%を大きく上回り、22.5%あった。これらは固定館には見られない利用形態だった。

土・日曜と平日との比較は次のとおりである(移動図書館をのぞく3館の比較)。



平日では、友達とくるケースが 56.9%に対し、土日では 27.5%に過ぎなかった。逆に土日では父母と来館するケースが 30.9%あり、平日の 13.4%を大きく上回っている。休日は族来館するというライフスタイルが見られる。

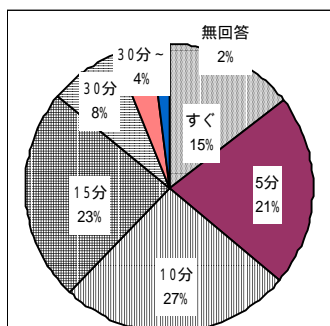
学年別に比較したのが下図である。



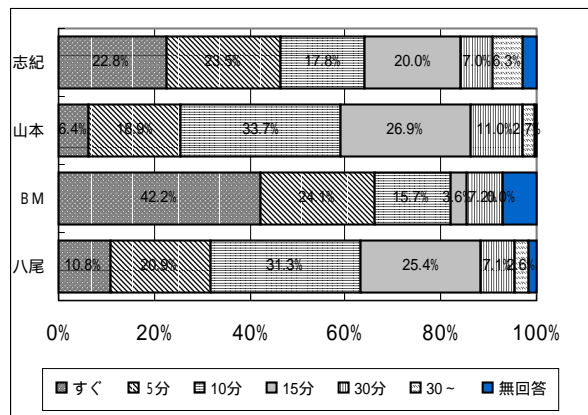
5年生では、58.6%が友達と来館すると答え、最も多く、続いて6年生56.8%が続く。高学年になるほど、友達と来館するケースが多い。両親と来るケースは、1年生の45.2%、2年生33.3%となり、低学年では親と来るという傾向が見られた。また、1年生の29.8%は兄弟と来ており、ひとりで来たのは4%に過ぎない。1年生ではまだ図書館にひとりで行くというのは難しいようである。

10. 図書館にくるまでどれぐらいかかりますか。

すぐこれる	137
5分ぐらい	200
10分ぐらい	244
15分ぐらい	219
30分ぐらい	76
30分以上	39
無回答	17

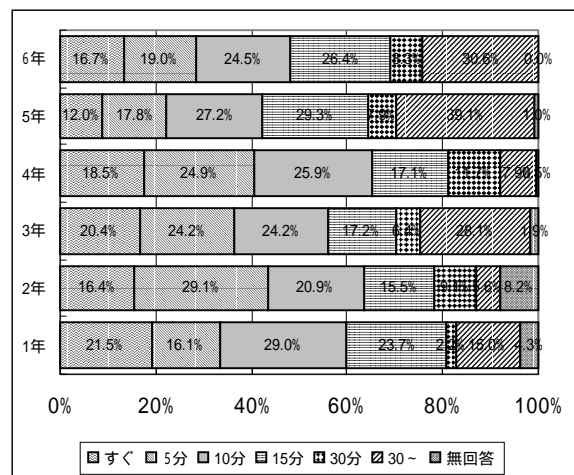


10分以内に来館できると回答した児童が全体の63%あり、15分以内まで範囲を広げると86%が15分以内に来館できると答えている。子どもたちの行動範囲を考えるとかなり難しくなってくると言える。これを館別で比較すると以下のとおりである。



移動図書館では42.2%がすぐに来館できると答えており、続いて志紀図書館の22.8%が続く。逆に山本図書館ではすぐに答えた児童は6.4%に過ぎなかった。

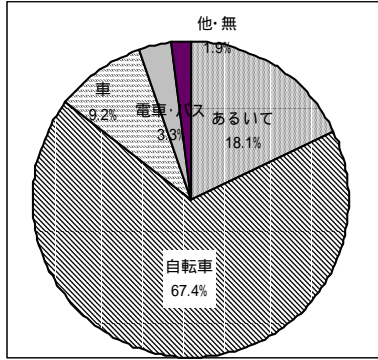
これを学年別でみると次のとおりである。



5年生の39.1%は30分以上かけて来館しており、6年生の30.6%が続く。高学年になるほど行動範囲が広がってくるが、きわめて高い数字だと言える。

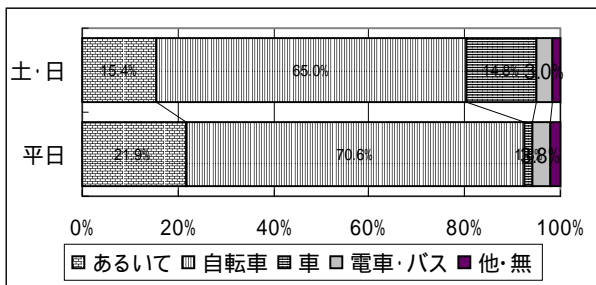
11. 図書館には何できましたか。

あるいてきた	169
自転車できた	628
自動車できた	86
電車・バスできた	31
そのほか	6
無回答	12



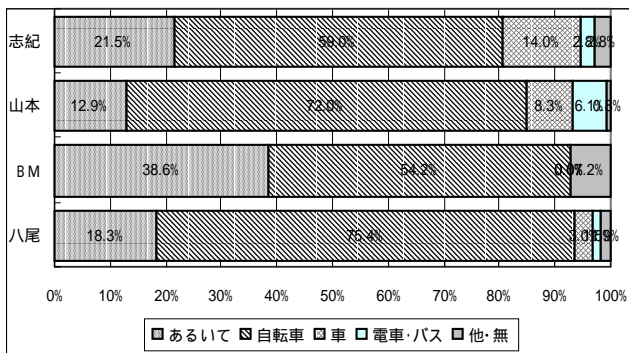
自転車での来館が最も高く 68%を占めている。

土・日と平日で比較すると以下のとおりである。



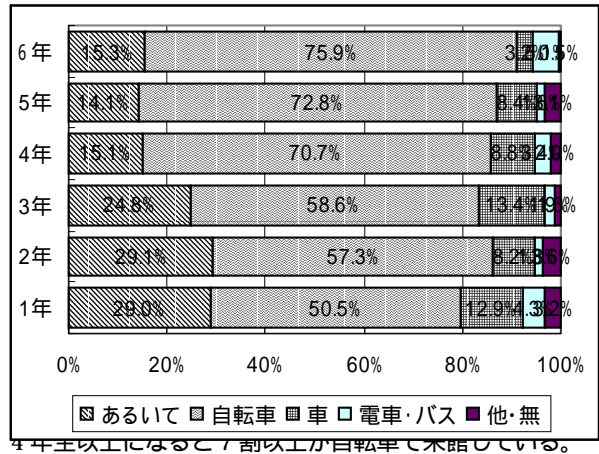
平日と土日を比較すると、土日は、車で来館するケースが多く、14.8%は車で来館したと答えているのが特徴的である。

図書館別で比較すると次のとおりである。



志紀図書館では車で来館するケースが最も高く 14.0%あった。駐車場が整備されているので、遠方から家族と来るためだと思われる。駅から近い山本図書館では、6.1%が電車・バスを利用しており、他館と比較すると目だって高い数字になっている。

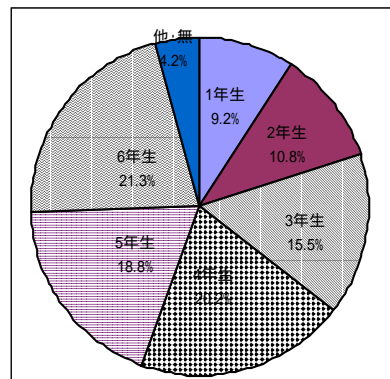
学年別で比較すると次のとおりである。



4年生以上になると、割合上が自転車で来館している。

12. あなたは何年生ですか。

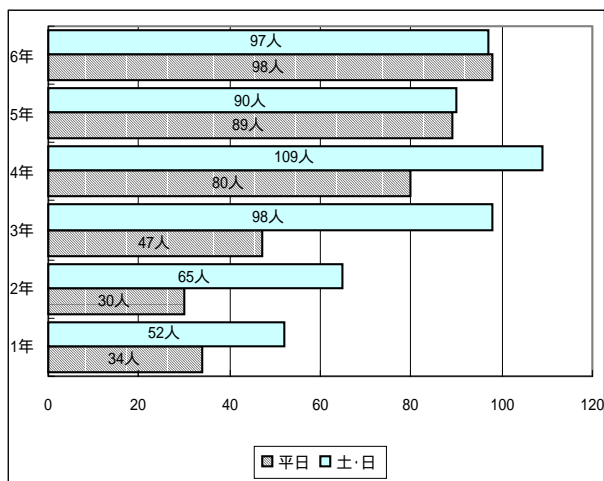
1年生	93
2年生	110
3年生	157
4年生	205
5年生	191
6年生	216
他・無	43



今回、誤配による中学生等の記入はすべてその他として集計している。

アンケートに回答を寄せてくれた児童のうち最も多かったのは6年生で22%(216名)あった。4年生が20%(205名)でそれに続いている。1年生は4月という時期もあり、職員の力を借りながら回答してくれたケースもあったが、かなり難しかったようだ。

土・日と平日で比較したのが、下図である。



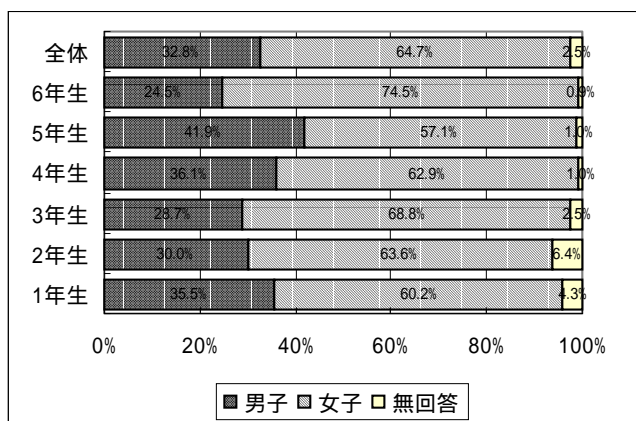
4年生までは、予想に反して、土・日の利用が多くなっているが、5年生になるとほぼ同数になってきている。

13. 男の子ですか。女の子ですか。1つをつけてください。

	男子	女子	無回答
1年生	33	56	4
2年生	33	70	7
3年生	45	108	4
4年生	74	129	2
5年生	80	109	2
6年生	53	161	2
その他	11	18	1
無回答	4	6	3
計	333	657	25

アンケート回答者のうち 67.4%(657名)は女子が占めた。

学年別の回答者の割合は下図のとおりである。



5年生の男子が割合としては最も多く 41.9%(80人)を占めるほかはどの学年も女子の方が多かった。

14. 何でもいいから書いてください(好きな本や図書館にあったらいいなあと思う本、図書館の人に言いたいことなど)

全回答者のうち、自由回答欄に回答を寄せたのは、以下のとおりである。大変多くの子供達が熱心に記入してくれた。

	有効回答数	記入者数	(%)
八尾図書館	268	187	69.8%
移動図書館	83	65	78.3%
山本図書館	264	203	76.9%
志紀図書館	400	296	74.0%
合計	1015	751	74.0%

全体的な傾向として、「図書館に入れて欲しい本」、「自分が好きな本」、職員に言いたいことなどを書いてくれる傾向があった。集計データに全文掲載しているので、参考までにごらんいただきたい。